

# 専修学校における被災者支援ボランティア活動

専修学校では、東日本大震災の発生以降、全国専修学校各種学校総連合会からの呼びかけ等を踏まえ、その専門性の高い知識・技能を活かしながら、被災地の避難所等において被災者支援に係るボランティア活動を行っています。

## 【工業分野】

### ○ 日本工科専門学校（兵庫県）

「学ぶ技術でボランティア」をスローガンに掲げ、6月18日から23日まで、建築工学科・建築職人マイスター専攻科の学生14名、講師6名が、岩手県陸前高田市小友町のオートキャンプ場において、木造の仮設住宅8.5棟を建築しました。

また、1級自動車整備専攻科・車体工学科の学生9名が、被災地においてカーシェアリングに役立ててもらうために、関西各地から寄贈された自動車の車検整備を行いました。

さらに、10月25日から29日にかけては、陸前高田や石巻の仮設住宅において62台の車両点検を行いました。今後も、スノータイヤからノーマルタイヤに履き替える時期に、ボランティア活動を行う予定をしています。



## 【教育・社会福祉分野】

### ○ 盛岡医療福祉専門学校（岩手県）

### ○ 日本福祉医療専門学校（新潟県）

8月23日、岩手県宮古市の仮設住宅において、2校の連携のもと、介護福祉士を目指す学生22名が、炊き出し、バザー、レクリエーション等のボランティア活動を行いました。学生たちが主体となり、現地のニーズ把握から当日の活動内容、販売物品の収集など数ヶ月に渡り準備を行いました。レクリエーションでは、2県の地域芸能で住民の方たちと一緒に踊り、楽しく触れ合いました。



## 【教育・社会福祉分野】

### ○ 盛岡医療福祉専門学校（岩手県）

11月5日、岩手県山田町の知的障がい者更生施設「はまなす学園」において、社会福祉学科の学生が、レクリエーション活動等のボランティア活動を行いました。また、11月12日には、介護福祉学科、保育福祉学科、医療事務学科の学生が宮古市津軽石の仮設集会所において茶話会を行い、お茶を点る、傾聴等のボランティア活動をしました。8月10日、11月5日には保育福祉学科の学生が釜石市の釜石保育園において、園庭や遊具等の清掃・製作、保育、秋祭りの手伝い等のボランティア活動を行いました。

## 【医療分野】

### ○ 太田医療技術専門学校（群馬県）

7月24日、8月7日の2日間、救急救命学科の学生・教員が、宮城県石巻市及び南三陸町において、公共施設や道路の側溝等の泥だし作業を行いました。7月24日は、約40人が、8月7日は18人が活動しました。

歯科衛生士学科では、歯ブラシセットを用意し、被災地（宮城県石巻市、南三陸町、七ヶ浜災害ボランティアセンター等）へ届けました。

また、10月21日に宮城県南三陸町の伊里前保育所において開催された、本年3月に卒園した児童の修了式に際し、児童が当日胸につけるコサージュや、式場の装飾、賞状の製作等の事前準備に学生全員が協力しました。当日は、学生4名、教員2名が修了式と炊き出しのボランティア活動を行いました。



## 【服飾・家政分野】

### ○ 静岡デザイン専門学校（静岡県）

地元商店街組織である静岡市伝馬町発展会とともに、全学科約450名の学生が、復興支援イベント「未来のチカラプロジェクト “絆” てんまで届け」を実施しました。イベントを通じて、静岡市伝馬町小学校の児童とともに制作した手書きメッセージ入りうちわを336本、ファッションビジネス科の学生40名が制作したシュシュ100個等を、岩手県大船小学校の児童に贈りました。

また、学生・教職員ら有志10名以上が、地元の大学生や主婦等と合同で、防災ずきんに子ども向けデザインを施し、宮城県多賀城市において、幼稚園児や小学生向けに配布しました。

